




教室活動のデザインV

「教室活動のデザイン」シリーズでは、教室で行っている活動を振り返り、主体的に学ぶ学習者を育てるための活動について、参加者のみなさんと一緒に考えます。5回目の今回は、「読解」と「作文」という2つのトピックを取り上げます。各講座はそれぞれ独立していますので、どちらか一つの講座の受講でもかまいません。

◆日時：2013年1月13日（日）、1月14日（月・祝）両日とも10:00～17:15

◆会場：政策研究大学院大学 5階講義室F（東京都港区六本木7-22-1 国立新美術館正面）
都営大江戸線・東京メトロ日比谷線六本木駅・東京メトロ千代田線乃木坂駅より徒歩5～10分
地図詳細  <http://www3.grips.ac.jp/~globalcoe/sympo/img/mapJP.pdf>

◆講座内容と対象：受講は1講座だけでも可能です。

【講座1 読解】2013年1月13日（日）10:00～17:15

「協働的読解活動のデザイン ―創造的な学びの場づくり―

講師：館岡洋子氏（早稲田大学）

＜対象＞教室における協働的な読解活動の場づくりに興味がある方。

【講座2 作文】2013年1月14日（月・祝）10:00～17:15

「学習者の作文分析を通して学び合う作文授業の構築 ―要約・書き換えからレポート作成へ―

講師：木戸光子氏（筑波大学）

＜対象＞中上級学習者に対してアカデミック・ジャパニーズのための作文を教えている、または将来教えたいと考えている方。

◆定員：各講座30名（先着順）

◆コーディネーター：ボイクマン総子・近藤彩・徳永あかね（教師研修委員）

◆受講料：1講座につき 日本語教育学会会員：4,000円・一般：5,000円・学生：3,000円

※2講座申し込みの場合には合計金額から1,000円割引いたします。

※団体会員、賛助会員の会員適用価格は1団体1名様までとさせていただきますので、ご了承ください。

※応募書類受領後に振込先口座番号等をお知らせします。なお、一旦払い込まれた受講料の返金には応じかねます。

◆申込締切：2012年12月14日（金）※定員に達した場合締切日以前でも募集を終了します。

◆申込方法：参加申込書を日本語教育学会ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からダウンロードして、Eメール添付、FAXのいずれかの方法で日本語教育学会事務局まで送付してください。

申込書到着後、折り返し、受講料振込み口座等をEメールにてご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、書類未着の可能性がございますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

Eメールで応募する場合、メールタイトルは「教室活動のデザイン申込」としてください。

※講座1にはメール添付で配信する事前課題があります。詳細は次ページをご覧ください。

※応募書類は返却いたしません。また、本募集に関して集めた個人情報とは本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆送付先と問合せ：（社）日本語教育学会 教師研修委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2F

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

★各講座の目標と内容は次ページをご覧ください。

◆各講座の目標と内容：

講座名	【講座1】1月13日(日) 講師：館岡洋子氏(早稲田大学) 「協働的読解活動のデザイン —創造的な学びの場づくり—」		【講座2】1月14日(月・祝) 講師：木戸光子氏(筑波大学) 「学習者の作文分析を通して学び合う作文授業の構築 —要約・書き換えからレポート作成へ—」	
対象者	教室における協働的な読解活動の場づくりに興味がある方。		中上級学習者に対してアカデミック・ジャパニーズのための作文を教えている、または将来教えたいと考えている方。	
事前課題	事前に配布する「テキスト」(A4で2~3枚)を読んでくること。「テキスト」は参加者にメールで配信しますので、必ず事前にご確認ください。		事前課題はありませんが、当日、記事の要約文を書く課題をして参加者全員で共有します。辞書(携帯電話の辞書機能も可)を持って来て下さい。	
目標	(1) 理解する：講義を聞き、また、自らがテキストを協働で読むという体験をすることによって、テキスト理解、他者理解、自己理解を深めるということについて考察する。 (2) デザインする：実際に協働で読む授業をデザインし、創造的な学びの場づくりについて検討する。 (3) 振り返る：本日の活動を振り返り、読解授業における気づきや今後の授業に生かしたい点などをまとめる。		中上級学習者に対するアカデミック・ジャパニーズの作文教育において、実際に書かれた作文を出発点とし、その文章分析を活かした授業活動の内容と方法を考える。 (1) 日本語教育の中での作文教育の位置づけを知る。 (2) 文章分析を通して言語表現と書き手の意図との関連を知る。 (3) 受講者による要約の体験、および自分の要約文と学習者の要約文の分析を行う。 (4) レポート・論文作成の準備段階の練習として「要約」「書き換え」を考察する。	
内容詳細	10:00-10:10	開会	10:00-10:10	開会
	10:10-12:30	1) 講義：読解教育における読解とは 2) 講義：「ピア・リーディング」とは 3) グループ活動：「ピア・リーディング」の体験 4) グループ活動：体験の共有	10:10-12:30	1) 要約文作成 2) 講義：学習者の作文の分析から出発した作文教育 3) グループ活動：自分の要約文と学習者の要約文との比較検討 4) 講義：要約・書き換えからレポート作成へ
	12:30-13:30	昼食休憩	12:30-13:30	昼食休憩
	13:30-16:00	5) 講義：学習者の事例紹介 6) グループ活動：デザインの考案(グループ) 7) グループ活動：考案されたデザインの共有(全体)	13:30-15:30	5) 講義：文章分析結果を活かした作文授業 6) グループ活動：複数の要約文の分析・分類、ポスター発表の準備
	16:00-17:00	8) 本日の活動の振り返り	15:30-17:00	7) ポスター発表：グループ別に要約文の分析結果を発表する 8) まとめ
	17:00-17:15	閉会	17:00-17:15	閉会

